事業箇所総合評価シート

【担当課： 道路建設課】

事業名	補助道路整備事業	路線名等	一般県道　大又小川線
箇所名	吉野郡東吉野村三尾		

事業の概要	目　的	東吉野村は、大又小川線の沿線に立地する「ふるさと村」や「やはた温泉」を観光・交流拠点施設として、「東吉野村みんなで村づくり構想」（H23.3策定）に位置づけ、観光振興に取り組んでいる。 大又小川線は、役場の立地する小川地区から大又地区に至る、迂回路のない唯一の道路である。当該地区内は、車道幅員が狭く、すれ違いが困難なことから、特に問題となる永昌橋（えいしょうばし）付近の狭隘区間を解消し、円滑な交通の確保を図る。				
	事業内容	延長：L=約80m 計画諸元：2車線　幅員W=6．5m 事業内容：局部改良				
	着手年度	平成25年度	完成予定年度	平成28年度	全体事業費	約300百万円

定性的評価	事業の必要性	【必要性】 ①前後区間は改良済みであるが、当該箇所は幅員（W＝4．0m）が狭く、車同士のすれ違いが困難である。とりわけ、観光シーズンにおける安全で円滑な交通の確保が必要。 ②観光・交流施設である「ふるさと村」や「やはた温泉」への大型観光バス唯一のアクセス道路として整備が必要。 ③永昌橋は「奈良県橋梁長寿命化計画」（H22.2）において、歩行者への危険や突発的な通行止めを発生させない橋梁として抽出されており、対策が必要。 【緊急性】 ①「東吉野村みんなで村づくり構想」（H23.3策定）の実現を支援する事業であり、早急な整備が必要。
	上位計画等	「奈良の今後の5カ年（平成21年度～平成25年度）の道づくり重点戦略」(H20.12)
	事業の有効性（事業により予想される効果及び影響）	①観光客の増加による観光振興 ②安全で安心な暮らしを提供する道路の安全性向上
	コスト縮減への取組み	・コンクリート構造物のプレキャスト化　▲1百万円
	地元情勢等	・大又小川線既成同盟会による早期整備の要望（H24.6） ・地元地権者から事業協力すること（地図訂正含む）について同意書提出（H24.9～12） ・東吉野村長による早期整備の要望（H24.11）
	他計画他事業との関連	・「東吉野村みんなで村づくり構想」（H23.3）

評価結果	左　の　理　由
採択	観光振興及び橋梁老朽化対策の観点から観光交流拠点への道路整備を推進するため、採択とする。

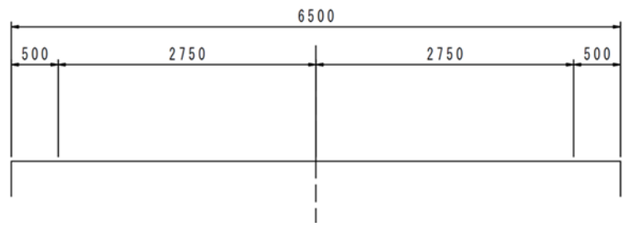
【位置図】

奈良県道路網図（平成23情使第43号）を転載

【現況写真】

幅員狭小箇所（永晶橋付近）

【標準横断図】



※写真は、奈良県撮影